



**SPOD-SDプログラム
学務系職員養成プログラム
(入試・広報) レベルⅠ
「入試情報調査論」**

愛媛大学教育学生支援部
菊川 昭治



研修の目的, 到達目標

- 目的
 - ・ 入試情報調査の考え方を説明し, 実際に, 受講者がリサーチ(市場調査)をデザインし, 分析し, 活用できるようになることを目的とする
- 到達目標
 - ・ 入試情報調査の考え方について説明できる
 - ・ 目的(仮説), 方法(手法), 対象を明確化できる
 - ・ 実際にリサーチ(市場調査)をデザインし, 分析・活用できる

平成25年8月21日

入試情報調査論

2



内容

- 入試情報の調査とは
- 分析対象の紹介
- 分析ワーク【1回目】
- 分析手法
- 分析ワーク【2回目】
- まとめ

平成25年8月21日

入試情報調査論

3



入試情報の調査とは

- 入試業務においては、膨大な量のデータ(情報)が発生する。
 - 単に統計として収集・保存するだけではなく、目的に応じて分析し、理解することは入試担当者の必須業務
- 入試情報の分析は、入試制度の改善案作成、効果的な入試広報の実施に不可欠な業務知識

平成25年8月21日

入試情報調査論

4



分析対象の紹介

- 受験生、保護者、高校等のニーズ
 - アンケート調査
- 入試に関するデータ
 - 志願者数推移
- 入試成績と入学後の成績等との関連
 - 入試区分別の入学後の成績

平成25年8月21日

入試情報調査論

5



分析ワーク【1回目】

- 3種類の分析対象について、3～4名のグループによる分析を行う
 - 素直に見たまま
 - ウォームアップなので気楽に
 - どれか一つに絞っても良い
- グループによる分析結果発表
 - 簡潔に
 - 感想程度で

平成25年8月21日

入試情報調査論

6



分析手法

- 分析手法
 - 必要な情報(データ)は揃っていたか？
 - 不足している情報(データ)は？
- 新たな視点
 - 目的(仮説)に対するアプローチは妥当か？
 - 導き出したものは妥当か？
 - 何の役に立つ分析であるか？

平成25年8月21日 入試情報調査論 7



分析ワーク【2回目】

- 1回目で分析した対象について、再度、グループによる分析を行う
 - すべての意見やアイデアを漏らさず記録する
 - 要件と制約を確認する
 - アイデアを評価する
- グループによる分析結果発表
 - 多数決で上位のアイデア候補を決定し、整理する
 - 改善・改良される点を明確にする
 - 上位 5 ～ 10 個のアイデアに絞る

平成25年8月21日 入試情報調査論 8



まとめ その1

—入試関係の情報収集と分析及び活用に関して—

- 収集・分析において
 - どういう情報を集めれば良いか
 - 不要データの集めすぎと必要データの不足
- 情報源は
 - マスメディア(受験雑誌)、インターネット(受験産業)に出ている情報や調査結果をそのまま使用
- どういう収集方法を使うか
 - 安易なアンケート調査を使う
 - 都合の良いデータ・分析だけの提示
- だれが収集・分析するか
 - 信頼性の低いデータを使用する

平成25年8月21日 入試情報調査論 9



まとめ その2

－入試関係の情報収集と分析及び活用に関して－

- 活用において
 - 優位性があるかだけを判断する
 - 小数点以下の差異に意味があるか
 - 「強み」、「弱み」だけで判断する
 - SWOT分析等(単なるSWOTリストの編集に注力してしまう可能性)
 - 「仮説」を作って「検証」というプロセスの安易な使用
 - 収集・分析・企画・実施の各ステップ毎の十分な検証作業(PDCAサイクル)

平成25年8月21日

入試情報調査論

10



おまけ

- クリティカル・シンキング
 - 目的や前提を明確にする
 - 思考停止
 - 直面する「問題」を疑ってみる

平成25年8月21日

入試情報調査論

11
